

「人間はみんな違うんだ。お前の個性を生かせ」。埼玉川島村（現川島町）の川島中学校で、ソフトボール部顧問だった酒井香先生の言葉は、今でも私の人生訓だよ。当時、

20歳代の小柄な男の先生の一言が、自信

を与えてくれたんだ。私は5人きょうだいの末っ子。幼い頃から野球をしたり、チャンバラごっこをしたり。とにかく活発でね。足の速さは村一番。スポー

ッ大会ではいつも活躍してたんだ。でも、母親はすごく

厳しくて、褒められた記憶がない。他の子と比較されたり私ばかり叱られたりで、「嫌われてるのかな」と思っていたくらいだよ。

中学に入ってソフトボール部を見学した時、「何でスポーツをやりたいんだ？」と声をかけてくれたのが酒井先生だった。「母に

スポーツで認められたいんです」と訴えると、先生は「よし。この部でお前の一番を探してみろ」と。

入部してがむしゃらに走った。体格もがっちりしてたから先生からは「ダンンプ」と呼ばれてね。捕手になつてからは、配球を考えて三振を奪うのが楽しくて、先生のサインを無視して投手にどんだん内角を攻めさせたよ。「何やってんだ」とよく怒られたけど、先生は生意気な私に任せてくれた。自信がつき、母に対しても、私の性格を分かってくて厳しく接してたんだな、と感謝できるようになった。

「個性を生かせ」人生訓に

私の先生

ッ大会ではいつも活躍してたんだ。でも、母親はすごく

指導者になつてからも、先生の言葉は宝物。投げ出したいと思う度に、先生の言葉を思い出すんだ。選手

うつぎ・たえこ 1953年、埼玉県出身。現役時代、俊足の内野手として活躍し、74年世界選手権で準優勝。日本代表監督として、2000年シドニー五輪で銀、04年アテネ五輪で銅メダルを獲得。NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長。著書に「努力は裏切らない」など。

個性をどう伸ばすか。そこでできることを精いっぱいやる。それが自分と仲間、組織を生かすんだ……。先生の言葉でここまで頑張れた。私の指導の原点だね。

（聞き手・桜木剛志）

